

## <科学探究>講座 『命の尊さ～臓器移植から考える～』 令和3年12月10日(金)

講師として福井県臓器移植コーディネーターの山口多恵氏をお招きし、1年生特進コースの生徒を対象に約1時間にわたってお話を頂きました。

救急救命の現場では、救命のための処置や治療が困難な場合、「自然な経過」に委ねたり「延命治療」を施すこと以外に、もう一つの方法として「臓器提供」があります。

以下の内容にて、お話を頂きました。

- ・愛する人の死
- ・脳死と植物状態の違い
- ・臓器移植法の改正法施行(2010年7月)以後の臓器提供ドナー数と移植件数の増加状況
- ・国別の臓器提供数と日本、福井県での現状
- ・臓器移植ネットワークに登録者(移植希望者)が約1万5千人(2021.10現在)いること
- ・臓器提供意思表示カードについて
- ・臓器提供ができる場合やその条件について
- ・臓器提供を受けた人へのインタビュー映像

など

肉体と意識に関する問題については、日本には独特の死生観というものが根強くあるようで、諸外国に比べて臓器提供数がかなり少ないのが現状のようです。

この講座では、臓器を提供する側と移植を受ける側の立場に立って考える機会を頂けたと思います。生徒の皆さんは、真剣に聞き入っていました。ありがとうございました。

